修理を依頼する前の簡単な点検

まずご自身で次の点検を行い、その上でなお異常があるときは、むやみに分解しないでお買いあげ販売店またはサービス店へお申しつけください

エンジンが始動しないとき

1．始動方法は取扱説明書通りですか？　(28頁参照)
2．ターミナル カバーは確実に閉じていますか？
3．リセット スイッチが“正常”の位置(押込まれた状態)になっていますか？　(14頁参照)
4．燃料はありますか？　(21頁参照)
5．ヒューズは切れていませんか？(46頁参照)
6．点火プラグは汚れ、濡れていませんか、また火花すき間は適正ですか？(42頁参照)
・点火プラグの清掃や火花すき間の調整が正しく行えない場合、新しい点火プラグと交換してください。

少し時間をおいてもう一度確めましょう

エンジンが始動してもオイル ランプ(油圧警告灯)が点灯するとき

➡エンジン オイルが減っていませんか？　(23頁参照)

水温ランプ(水温警告灯)が点灯するとき

➡ラジエータ液が減っていませんか？　(25頁参照)
・警告灯が点灯したときの再始動は、一度エンジンスイッチを“**停止**”にし、ラジエータ液の量を確認し、水温が下がってからリセット スイッチを押込み、再始動を行ってください。

電気が取出せないとき

1．使用器具に異常が無いか、また電気の取出し過ぎでないか確認してください。
2．少し時間をおいてから安全スイッチを“**入**”にしてもう一度確かめてください。